

全国小学生プログラミング県大会



島村センター長からリモートで表彰を受ける小椋君（画面内）



関根局長から福島民報社賞を受ける西山さん（左）

小椋君（猪苗代・吾妻小5年）最優秀

西山さん（いわき・泉小3年）民報社賞

南相馬・ロボテス

全国選抜小学生プログラミング大会の県大会は17日、南相馬市の福島ロボテス・トフィールドで開かれた。小椋正晴君（猪苗代町・吾妻小5年）が

最優秀賞に選ばれ、全国大会出場を決めた。福島民報社賞には西山美野里さん（いわき市・泉小3年）が選ばれた。

県大会は福島民報社などでつくる実行委員会主催で3回目。全国新聞社事業協議会の共催、県情報産業協会の協賛。1次審査を通過した6個人・団

体が最終審査に臨んだ。テーマは「みんなの大切なこと」。リモートで臨んだ小椋君は、エコの大切さを楽しく理解できるゲームを作り、実際に映像を交えなが

ら開発のポイントなどを説明した。初回から応募している小椋君は「初めて最優秀賞を取れてうれしい。改良をして全国に挑みたい」と話している。

福島高専の島村浩情報処理教育センター長が審査委員長を務めた。発想、表現、技術の各能力合わせて100点満点で採点した。

開会式で主催者を代表し福島民報社の関根英樹取締役事業局長があいさつした。表彰式で島村センター長が小椋君に、関根局長が西山さんに表彰状などを贈った。島村センター長、会津大の吉岡廉太郎教授、東日本計算センターの鷲弘樹社長が講評した。

最優秀賞と福島民報社賞以外の成績は次の通り。

▽県情報産業協会賞 11
timu5（森岡蓮・神山大葵（郡山市・安積二小5年））▽VAIデア賞 11
わきカルチャー研究会 20
22（相沢以安（いわき市・小玉小6年）安藤慧・青天目旭陽（同・勿来小5年）大和田哲秀（同・郷ヶ丘小5年））▽審査員特別賞 11
若林玲子（いわき市・磐崎小2年）▽福島民友新聞社賞 11 野地瑛大（いわき市・平五小6年）